



外を見ると気持ちよさそうな吹き抜け空間が、スタジオの熱気にほったカラダを休めるのにちょうどいい。ただし、小さなお子様には必ず大人がそばについてあげてね。

namco WUNDER PARK PAC-MAN STUDIO

アミューズメントゾーン

広い空間におなじみパイズゲーム、メダルゲーム、体感ゲームなど、最新機を幅広く揃えたAMゾーンは、スタッフが知恵を絞った盛りだくさんのイベントを用意してゲストを待っている、行かないきゃソンの遊び場だ！



本店店長(中央)以下、やさしいスタッフが君を待っている。



プロップサイクルスタジオ

スタジオといえば記念撮影ってことで、まずは『プロップサイクル』のシーンを再現したベア・ブランコ。カメラの撮影位置に微妙な角度がついているので、空中浮遊している、動きのあるイイ感じの仕上がりを保証。ここに行くときは、ぜひカメラ持参で行きたいね。



タイムクライシススタジオ



「タイムクライシス」の迫力あるシーンに肉薄すべく、立体画像に挑戦。撮影監督になっただけで、準備付けのビデオモニターを見ながら、絶好のアングルを探そう。

ドルアーガの塔スタジオ

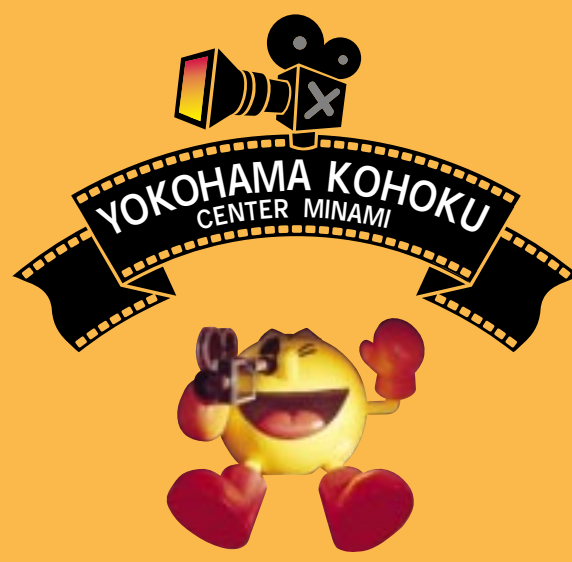


何の変哲もないベンチだと思ってしまうくらい座ったから、いきなり振動が襲ってくる。さらに、地盤の底から響くような不気味な音楽と首筋をなぞる風の連続攻撃には思わず声をあげてしまっそう、いたる好きなパクマンお気に入りの仕掛けなのだ。



プレイスポット紹介 日本を遊ぶ 拡大版

La Guide de Japon



大型体感ゲームを中心とする最新鋭機170台がスラリと並ぶアミューズメントゾーン、ナムコのキャラクターたちが勢ぞろいするシネマ感覚のエンターテインメントゾーン。この2つのゾーンで構成される、新しいタイプのプレイスポット「ナムコ・ワンダーパーク港北店バックマンスタジオ」は、2000年に誕生20周年を迎える世界的人気キャラクター、バックマンが経営するシネマスタジオだ。

4月25日、横浜市都筑区の港北東急百貨店S.C.内にオープンした『ナムコ・ワンダーパーク港北店バックマンスタジオ』は、あのバックマンが経営するシネマスタジオ。500坪のスペースでは、最新ゲーム機はもちろん、3つのアトラクションや多彩な仕掛けが施されたスタジオ施設などあり、カップルから家族までいろんな楽しみ方ができるようになっている。注目のテーマ型アミューズメントを徹底解剖してみよう！

ナムコ・ワンダーパーク港北店 バックマンスタジオ
横浜市都筑区茅ヶ崎中央5-1「港北東急百貨店S.C.」6階
☎045-948-5105 営業時間 AM11:00 ~ PM11:00 (年中無休)



設が一柄、ただゲームをするだけのスペースとは一味違う作りになっている。じっくりみれば、バックマンをはじめとするナムコのキャラクターたちがゲームから飛び出して、くっつく身近な遊び相手になっている感じ。もちろん各種アトラクションも完備されているから、子供から大人、カップルやファミリーまで、誰もが楽しめるのだ。



スタジオミュージアム



『ソウルエッジ』制作のためヨーロッパで購入された幻の剣、『鉄拳3』で風間仁が着用したコスチュームなど、ウィットを効いた貴重な品々も展示されている。

スタンプコレクション

スタンプを探して1個ずつ集めるのは楽しい。しかも完成すると、完成スタンプまで探してもらえ。カップルやファミリーでわいわいスタジオ内を歩いてみよう。(1人300円)



毎日変わるスタンプの位置を正確に再現するスタンプアーティスト。頭が混乱したらスタート位置で確認しながら先に進もう。あとでシールとしても楽しめる。



ジグソー型のスタンプは28か所、間違えないように押捺しなければ完成しないので、慎重に作業を進める必要がある。そのため、スタジオ内ではスタンプを探すプレイヤーが右往左往。それがまた、コレクター魂を刺激するのだ。なお、ジグソースタンプは完成したら家に持ち帰り、パズルや塗り絵として使うことができる。



第5ステージ オヤジを守れ!!



制限時間内に毒ハチを何匹撃退できるかで判定が下される。木の上にいるオヤジを守ってこれ。



ここで、ナムコ・ワンダーパーク 港北店バックマンスタジオの、自慢の atraxionを紹介しておこう。まずは「ガンバレット・ライブ」。御存知「ガンバレット」の世界がスタジオで再現されたユニークな atraxionだ。各ステージに与えられた指令のもとで、プレイヤーは5つのステージで、指示された条件にしながらガンバレットを繰り返してあげなければならない。無事にすべてをクリアすれば作戦は大成。記念写真

ガンバレットライブ



コミカルなガンゲーム・アトラクション『ガンバレットライブ』を楽しむコツは、なんといってもゲーム機の『ガンバレット』を先に体験して、ガンに慣れ、ゲームの世界を知っておくこと。そうすれば各ステージの難易度も予測がつくし、撃ち方のコツもわかってくる。いきなりライブ体験して百発百中するほど甘くないぞ!(1人500円)

第4ステージ 一発で撃て!!

1発で標的のUFOを撃ち落とせるか。3回のチャンスでいくつ命中させられるか。動く標的を狙うのは難易度が高いため、ふたりとも0発ってことも珍しくない。5ステージ中で最大の難関。クリアするには「ガンバレット」でのトレーニングあるのみだ。

まぎらわしい標的のなかで撃つべきはどれか、瞬時に判断して正確に撃て。求められるのは反射神経と集中力。あせらず、ためらわず、しっかりガン構えて激射あるのみ。ここにはテーブルがあり、観客がいることもある。まさに主役気分でのプレイに臨め。

第2ステージ たくさん撃て!!

プレゼントの特典が待っている。だけど敵もさるもの、かなり手ごわいのだ。「スタンプコレクション」は、スタジオのあちこちに設置されたスタンプを押して、ジグソーパズルやステッカーを完成させるのみならず、かの atraxion を楽しむという、これまたカンタンそう、なかなかうまくいかなかったりする。ついつい真剣になっちゃって、場内をウロウロする

プレイヤーも多数、持ち帰ってまた遊べるのでコストパフォーマンスも高い。さわやかなスタンプラリーとは一転して、「死神の棺」は、かなりおどろおどろしいホラー・アトラクションだ。なにしろプレイヤーはたったひとり棺桶の中に入らなければならないんだから変わってる。ヘッドフォンをつけると棺が閉められ、周囲は暗やみに支配される。そして、3D音声で聞こえてくるのは恐怖の

ストーリー……。背筋がゾクゾクしてくるぞ。しばらく歩いていくと、「鉄拳」シリーズから出てきたキャラクターのドレッシングルームがある。ここでは三島平八、ガン・ジャック、ジュリア・チャンのいずれがらぬスター連が、出番を待っている。そのドアを引く張ったリプザーを鳴らすとどうなるかは、やってみてのお楽しみだ。少し疲れたところで休憩タイム。『HOTDOG&CAFE』はアメリカン

ロードウェイスタイルの明るい店だ。ホットドッグとアイスコーヒーに舌鼓を打つもよし、話に花を咲かせるもよし。映画の後で寄ってみるのもいいかもしれない。そのほか、店内にはベビークーナ「P17」参照も設置され、オムツ交換ができるシートも用意されている。ファミリーで来ても安心なところって、ありそうでないもの。笑って、喋って、アトラクションやゲームに燃えて、親子共々十分にエンジョイしてほしいのだ。

どうってことない赤いドア。しかし、そこには『鉄拳』ファンならニンマリしてしまう、各キャラクターの個性を生かした仕掛けが施されている。いったいどんなアクションが待っているのか、気になるどころ。素通りすることなんかできないね。

ナムコスター楽屋



サウンド・ホラースタジオ 死神の棺

ヘッドフォンから流れる声は本当に死神のようで、聞こえるセリフがまたなんともおっかない。しかも音声が右、左と移動しながら聞こえてくるので、じつに気味が悪い。それに、壁に並んだ棺桶も妙にリアル。ホラー好きにはこたえられないアトラクションになっている。プリーフィングでも注意されるけど、心臓の弱い人は決してトライしないほうがいいと言っておこう。(1人300円)

HOTDOG&CAFE

ホットドッグからソフトドリンク、ソフトクリームまでの軽食&カフェ。ゲームの合間に軽いプレイクを入れるならここ。人気メニューはボリューム満点のコロッケドッグ、メンチカツドッグ(各350円)。ソフトクリームには季節限定で抹茶ソフト、夕張メロンソフト(各230円)も。おっと、オトナのためにはハイネケン(500円)もあるぞ。

